

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること

鹿沼市立北押原中学校 (氏名) 大貫 夏芽



私が広島派遣で学んだことは、現地に行かないとわからないことがあるということです。広島に行くまでは、原爆はとても恐ろしいものだと思っていても、その状況や人々の苦しみを想像できませんでした。実際に平和記念資料館で見たものは、ボロボロに焼かれた服や三輪車、痛々しいケロイドなど、原爆の被害をありのままに写していました。このときの衝撃と胸が苦しくなる思いは忘れないように心に刻みたいと思います。テレビや教科書でしか知らなかったことが、鮮明に理解できました。また、広島には国籍関係なく多くの人が集まりました。原爆は日本だけの問題ではなく、世界中で平和について考えることが大切だと思います。私は学校の代表として、これからを生きる1人として、周りに伝える責任をしっかりと果たしたいです。